

競技・審判上の特記事項

1. 棄権について

次の場合には棄権とみなします。

- (1) 何の連絡もなく、競技者（プレーヤー・〔団体戦の場合〕監督）が集合時刻にコートに集合しなかった（コールされて5分以上経過した）場合
- (2) 怪我等で試合の続行が不可能な場合

2. 注意・警告・フォルト・失格について

次の場合には、その程度により警告・フォルト・失格の処置をとります。

- (1) 選手が体力や息切れ回復できるように、またはアドバイスを受けるために、主審の許可なしにコートを離れたり故意に遅らせたり、プレーを中断したりした場合
 - ① 必要な用具・物品は試合開始時にコートサイドのかごの中に入れてください。
かごの中に入れて良いものは、選手ID、水筒、タオル、交換用ラケット（ケースから出しておく）、練習用シャトル、着替え、グリップパウダーまでとします。
 - ② シューズの滑り止め（シューズダスターボードなど）は、コートサイドへの持ち込みを可としますが、使用はインターバルのときのみとします。
 - ③ ベンチには、バッグ、ラケットカバー、クーラーボックス（監督が持てる範囲のもの）、氷嚢、救急処置セットの持ち込みを認めます。
 - ④ 汗ふきやシューズひもの締め直し、シューズ底の汚れ落とし、ラリー中以外でのラケット交換などは、主審の許可を得てから行ってください。
 - ⑤ 氷嚢の使用はインターバルのときのみ認めます。また、競技フロア内への大きなクーラーボックスの持ち込みは禁止としますが、ベンチの下に入るような小さなものは、ベンチ内までの持ち込みを可とします。
- (2) シャトルのスピードや飛び方を変えるために故意にシャトルに手を加えたり破損したりする場合。
- (3) 選手の不品行な振る舞いや発言があった場合
 - ① 見苦しい服装でプレーする。（上衣の裾は必ず下衣に入れること。背面ゼッケンは4点止めにすること。）
 - ② ラケットや身体でネットなどのコート施設や床を叩く。
 - ③ 審判員や観客に対して横柄な態度をとる。
 - ④ 耳障りな掛け声や叫び声を発する。
 - ⑤ 相手を威嚇したり、不快な言動をとる。（ラケットを振りかざして、ネットに出ていくような行為や言葉で威嚇する行為などが該当します。）
- (4) 選手や監督が審判員の判定に服さない場合

3. 応援について

応援は拍手のみの応援を原則とします。特にインプレー中の声援は謹んでください。また、インターバル中の連続したかけ声での応援で、コーチングに支障を来す場合や応援について問題がある場合は、レフェリー（競技役員長）が当該チームの監督または行為者（集団行為者も含む）に直接注意いたします。注意に従わない場合には、会場からの退場を命ずることもあります。

4. その他

- (1) 会場内の施設にシャトルが触れた場合はフォルトとします。
- (2) 練習用のシャトルは、各校持ち寄りをお願いします。競技用のシャトルは本部で準備します。シャトル等の競技物品は競技者がお互いに丁寧に扱ってください。シャトルは試打を行いますので選択は認めません。また、シャトルの交換については主審の指示を受けてください。
- (3) マッチ（試合）終了時には、勝敗に関係なく主審に握手をすることを心掛けてください。
- (4) 競技フロア内での携帯電話の使用、及びモバイル機器（iPad・携帯電話等）を使用している試合中のアドバイス・コーチングは禁止です。ベンチに入る際は電源を切るかマナーモードにしてください。
- (5) 監督・コーチはマッチ（試合）にふさわしい服装で臨んでください。
チームユニフォーム・シャツ（襟付き）・ポロシャツ・ブラウス、長ズボン・スカートとし、ジーンズやビーチスタイル、バミューダ、ショーツ、スリッパとサンダルは禁止とします。なお、その適否判断は大会レフェリーに委ねることとします。
- (6) 進行上、試合が連続する場合は、次の試合まで10分空けることを原則とします。また、該当する選手・学校の団体戦と個人戦が重なった場合は、同時に試合を行わないこととします。